

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		店舗において、ボイラー用燃料の貯蔵として地下タンク貯蔵所を設ける。			
タンクの設置方法		<input checked="" type="checkbox"/> タンク室 ・ 直埋設 ・ 漏れ防止			
タンクの種類		<input checked="" type="checkbox"/> 鋼製タンク ・ 強化プラスチック製二重殻タンク 鋼製二重殻タンク ・ 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク			
タンクの構造、設備	形状	円筒型横置		<input checked="" type="checkbox"/> 常圧・加圧 (kPa)	
	寸法	内径1,800mm 胴長6,000mm 全長6,738mm		容量 15,000 ℓ (容積 15,886 ℓ)	
	材質、板厚	鋼板製SS400 6t			
	外面の保護	エポキシ樹脂			
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要	漏えい検知管(25A、2,500mm)4本			
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
		無弁通気管		32 mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
				kPa	
可燃性蒸気回収設備	有 () ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
液量表示装置	フロート液面計	引火防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要	鉄筋コンクリート造厚さ300mmの基礎の上に300×400Hの架台を3箇所設け、鋼帯バンド(9t×60)3本で固定、16 のアンカーボルトにて浮上を防止する。				
注入口の位置	建物西側	注入口付近の接地電極	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
ポンプ設備の概要	オイルポンプ2基(OC-255-M0.2)による自動交互運転				
配管	埋設配管は、PLS被覆鋼管(JIS G 3452)を使用、接合部は電気溶接、ペトロラタムテープ(2.2mm)1/2巻き、防食テープ(0.4mm)1/2巻き。 露出配管は、黒ガス管(JIS G 3452)を使用、接合部はネジ込み接続、錆び止め塗装。				
電気設備	金属管配線で施工				
消火設備	第5種粉末消火器 6kg×2本				
工事請負者住所氏名	札幌市中央区北 条西 丁目 工業株式会社 代表取締役 (担当者) 電話 -				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 「直埋設」とは、二重殻タンクをタンク室以外の場所に設置する方法(地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。)をいう。
 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。